

# 山形県地球温暖化対策実行計画

“みんなで省エネチャレンジ 未来のやまがたのために”

【中間見直し版：概要】

— 将来像 —

持続的発展が可能な豊かで美しい山形県

— 基本理念 —

県民協働による地球温暖化防止の取組みで、低炭素社会を実現

— 基本目標 —

やまがたならではの先進的な低炭素地域づくりの推進

平成29年3月

山形県



## 1 地球温暖化のメカニズム

- 大気中の二酸化炭素などの温室効果ガスは、太陽光で暖められた地表の熱を吸収し、生物の生存に適した温度に保っています。
- しかし、産業革命以降、エネルギーを産み出すために多くの化石燃料が用いられ、大気中に温室効果ガスが大量に放出され、その濃度が高くなり熱の吸収が増えた結果、地表、大気及び海水の温度が上昇しています。これが「地球温暖化」です。

## 2 気候変動の状況

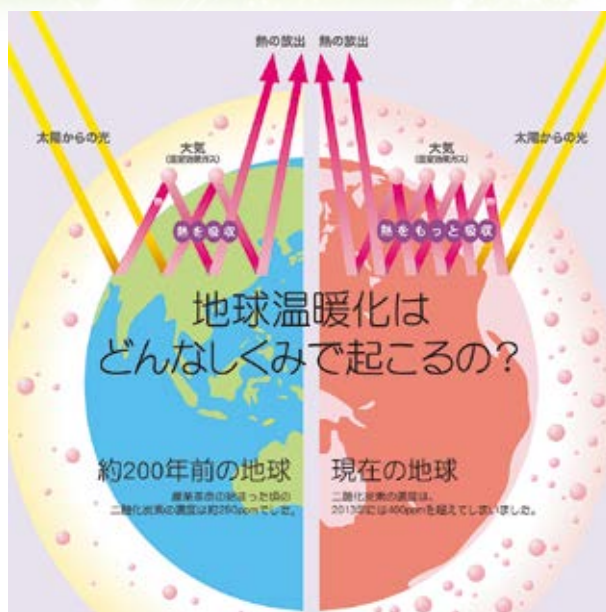
- 世界の年平均気温は1880年（工業化初期）から2012年（現在）までの間に0.85℃上昇しています。
- 日本では100年あたり1.16℃（1898年～2015年）、山形県でも山形で100年あたり1.2℃（1890年～2015年）の割合で上昇しています。
- 今後も平均気温の上昇が予測され、気温の上昇だけでなく、雨の降り方が極端になったりするなどの様々な悪影響を及ぼすと考えられています。

## 3 気候変動の影響

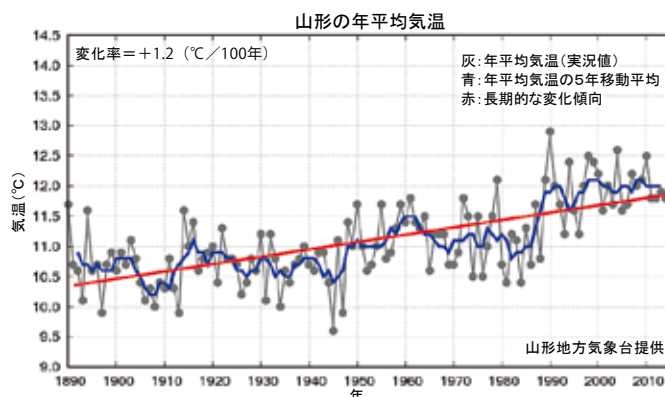
- 気候の変化によって自然環境や人間の社会経済活動に及ぶ変化を「気候変動による影響」と呼びます。農産物の品質低下や生物分布の変化など、日本全国で既に様々な影響が現れ始めています。

## 4 国内外の動向

- 京都議定書に代わる地球温暖化対策の新たな国際的枠組みとなる「パリ協定」が発効し（平成28年11月4日）、全ての条約締約国が産業革命前に比べ世界の平均気温の上昇を1.5℃未満に抑える努力を追求するなどの目標が効力を持つことになりました。
- 日本でも新たな温室効果ガス排出削減目標（2030年度に2013年度比△26%）を設定し、政府「地球温暖化対策計画」に基づく目標達成に向けた取組みが始まっています。



出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト



### 【中間見直しの趣旨】

「山形県地球温暖化対策実行計画（計画期間：平成23年度～平成32年度）」では、策定から5年後を目途に計画全体の見直しを図るとしています。

また、国内外の最近の動向の変化を踏まえる必要があることから、目標や取り組むべき施策等について見直しを行いました。（中間見直し版の下での取組みは平成29年度～平成32年度）

- ◆ 県内のエネルギー消費量は減少傾向で順調に推移していますが、温室効果ガス排出量は、東日本大震災以降の火力発電所の焼き増しによる電力排出係数の上昇などにより、基準年度（1990年度）に比べほぼ同水準にとどまっています。
- ◆ 温室効果ガスの削減目標を新たに設定し、県民総ぐるみでの取組みを推進します。

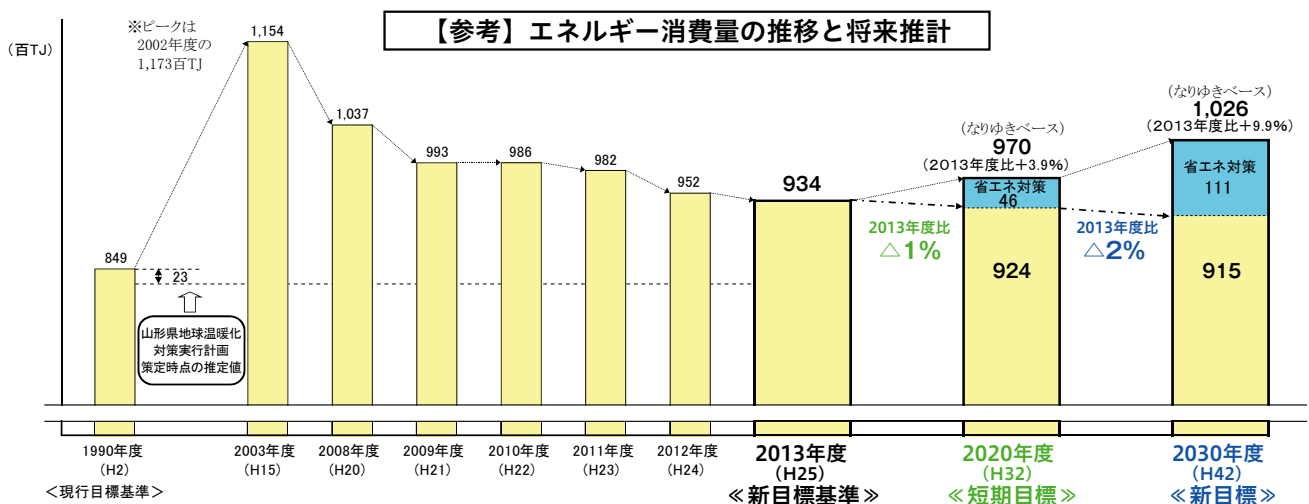
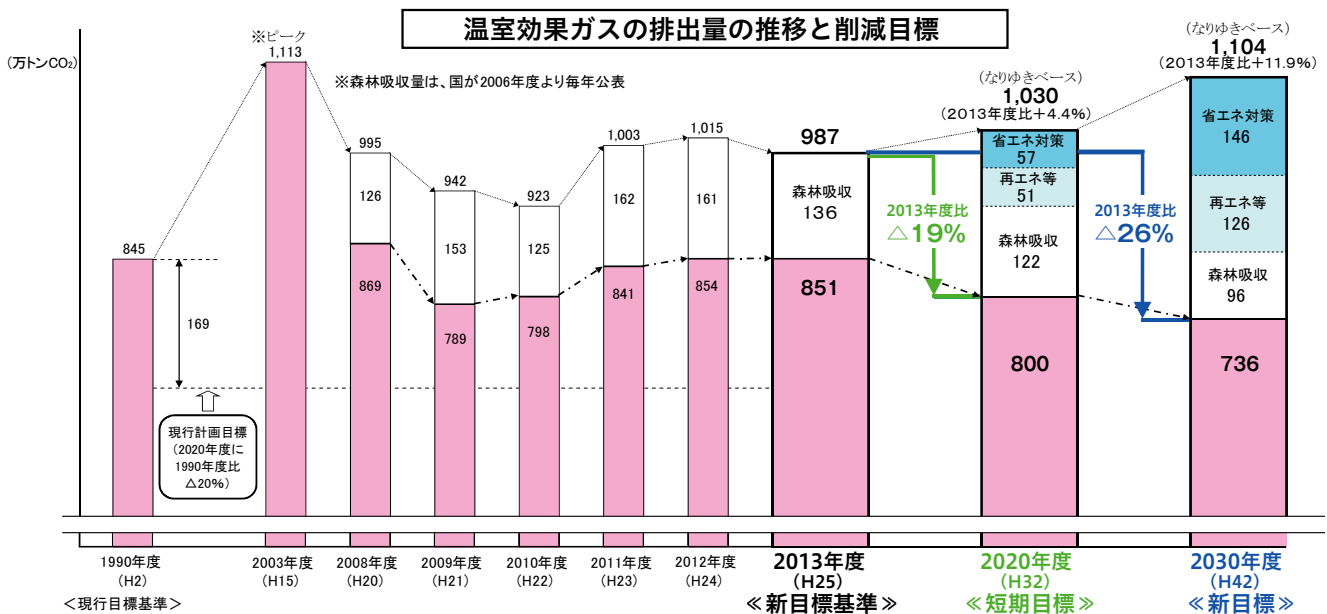
### 【目標】

- ① 2030（平成42）年度に基準年度比で26%削減します。《中期目標》
- ② 2020（平成32）年度に基準年度比で19%削減します。《短期目標》
- ③ 2050（平成62）年度に基準年度比で80%削減します。《長期目標》

### 【基準年度】

削減目標の基準年度は2013（平成25）年度とします。

※目標は、県の計画（産業振興ビジョン、新農林水産元気再生戦略）に基づく経済活動や世帯数、自動車保有台数などの見通しを踏まえて推計した将来のエネルギー消費量を基に、省エネの取組みや再エネ導入等による削減効果、森林吸収量を考慮し設定しました。





# Ⅲ 施策の展開(主な取組内容)

★は新規項目

## 1 地球温暖化を防止する低炭素社会の構築 ～省エネルギーの推進～

### (1) 環境に配慮した行動の提唱・推進

- ▶ 山形県地球温暖化防止県民運動推進協議会を推進母体とする「笑顔で省エネ県民運動」を展開し、県民総ぐるみでの取組みを推進します。
- ▶ 省エネルギー・低炭素型の製品への買換え、サービスの利用、ライフスタイルの選択など地球温暖化対策に資するあらゆる賢い選択を促す国民運動「COOL CHOICE」の普及啓発を図ります。★



### 【家庭部門】

- ▶ 環境意識の醸成のため、将来を担う子どもたちへの環境教育の充実を図ります。
- ▶ 太陽光発電等の再生可能エネルギー設備等の導入支援や省エネ住宅ガイドライン・事例集の作成などによる、住宅の省エネ化に向けた対策の推進、Z E H (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) の普及を図ります。★
- ▶ 関係団体等と連携し、家庭における省エネ家電への買換えを促進します。★

### 【事業所部門】

- ▶ 経済活動に無理のない範囲での、知恵と工夫を活かした自主的な省エネの取組みを広く呼びかけ、事業所の省エネルギー対策を促進します。
- ▶ 節電、クールビズ、ウォームビズ、ノーマイカーデーなど従業員の取組みを促進するエコスタイルチャレンジ事業所登録を推進します。また、事業所における環境マネジメントシステム構築等の自主的な取組みを促進します。
- ▶ Z E B (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の普及を図ります。★

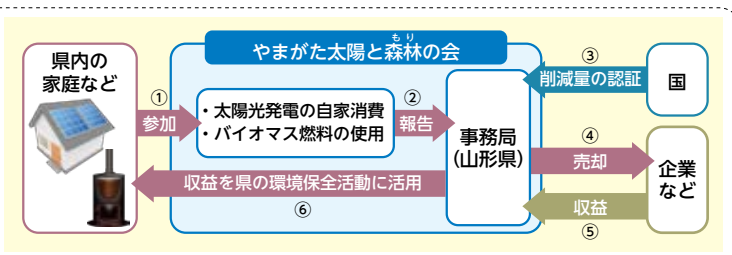
### 【自動車部門】

- ▶ エコ通勤・エコドライブの推進や次世代自動車の導入促進等を広く呼びかけ、自動車からの温室効果ガス排出抑制に向けた取組みを促進します。
- ▶ 各市町村や道の駅等への電気自動車充電設備の設置拡大を図るとともに、県内の急速充電器の設置状況を積極的にPRします。
- ▶ 水素エネルギーについて、県民の理解を深める取組みを進めるとともに、県内関係業者と情報を共有しながら利活用を検討していきます。★

### (2) 先進的な地域システムの構築

- ▶ 『やまがた太陽と森林の会』の運営により、CO<sub>2</sub>削減価値の売却益を環境保全活動の支援などに活用します。★

家庭等での太陽光発電設備や木質ペレットストーブなどの導入により削減された温室効果ガスを集約し、政府のJ-クレジット制度を活用してクレジット化し企業等に売却します。得られた売却益は環境保全活動などに活用します。



- ▶ やまがた緑環境税を活用し荒廃森林の整備や保安林の適正な管理を行うなど、森林吸収源対策の更なる推進を図ります。
- ▶ 公共交通機関の利用促進や信号機のLED化の計画的な更新など、交通インフラの整備に向けた取組みを推進します。

## 2 再生可能エネルギー等の導入による地域の活性化

### (1) 再生可能エネルギーの積極的な利活用

- 「山形県エネルギー戦略」※に基づき、再生可能エネルギーの導入を促進します。

※ 県では、平成24年3月に、エネルギー政策の方向性を示す「エネルギー政策基本構想」と基本構想の実現に向けた具体的施策を示す「エネルギー政策推進プログラム」で構成する「山形県エネルギー戦略」を策定しました。（「エネルギー政策推進プログラム」は平成29年3月に見直しを行っています。）

ホームページ

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/050016/yamagataprefenergyplan.html>



山形県庁の太陽光発電設備

#### 【大規模事業の県内展開の促進】

- ▶ 内陸部での風況調査や庄内沖での洋上風力発電の導入可能性の研究を行います。★
- ▶ バイオマス発電燃料の確保に向けた県産木材の生産拡大（やまがた森林ノミクスの推進）を図ります。★
- ▶ 県民参加型の再エネ発電事業に対する県による登録制度を創設し、事業化を支援します。★  
など

#### 【地域分散型導入の促進】

- ▶ 家庭・事業所・公共施設への導入を促進します。（温泉旅館等へのバイオマスボイラー設備導入★、農業分野での温泉熱の活用促進★）
- ▶ エリア供給システムの構築を進めます。（バイオマス発電施設で発生する熱の隣接施設・エリアでの有効活用の促進★）  
など

### (2) 低炭素社会を支える環境関連産業の創出・育成

- ▶ 再生可能エネルギー関連産業について、県内資本の参画を進めながら大規模事業の県内誘導を図ります。
- ▶ リサイクル産業など環境関連産業の育成強化や市場の拡大を推進します。  
など

### (3) 環境活動に対する内外からの活力の引き込み

- ▶ 「やまがた百名山」や「里の名水・やまがた百選」など、本県が誇る自然観光資源を県内外に広く周知することにより、豊かな自然に触れる機会を創出するとともに、環境資源の保全・育成の機運の醸成を図ります。★  
など

ホームページ

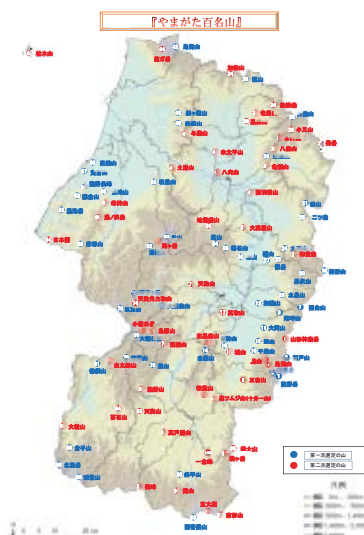
やまがた百名山

<http://yamagatayama.com/>



里の名水・やまがた百選

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/050014/meisui/meisui.html>







◆ 政府で策定した『気候変動の影響への適応計画』を参考に、本県の特性を踏まえた適応に係る施策を推進します。

## (1) 農林水産分野

- 本県では、農林水産部で「地球温暖化に対応した農林水産研究開発ビジョン」\*を策定し、農作物の高温耐性品種の開発(適応策)や、かんきつ類など暖地型作物の導入(活用策)、省エネ栽培技術の開発や省化学肥料・省農薬技術の導入等の温室効果ガス抑制技術の開発(防止策)を進めています。
- 引き続き、本県が取り組むべき重点研究領域を設定して研究開発に取り組めます。

\*平成22年3月策定(平成27年6月改訂)

ホームページ [http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/140003/ondanka/new\\_vision.html](http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/140003/ondanka/new_vision.html)



甘がき



すだち

## (2) 水環境・水資源分野

- 本県では、現時点では、地球温暖化に伴う気候変動の影響による湖沼・ダム湖、河川等の水温上昇や水質変化、渇水の頻発化・深刻化等の影響は確認されていませんが、引き続き、今後の状況を注視していきます。

## (3) 自然生態系分野

- 病害虫の北上・高標高化による森林被害の拡大が懸念され、イノシシやニホンジカ等の生息域の拡大などが確認されていることから、引き続き、森林被害の調査や野生動物の生息状況調査、森林生態系のモニタリング等、調査・研究を行い影響の把握に努めます。

## (4) 自然災害・沿岸域分野

- 県が管理する河川について、浸水想定区域図を順次作成し公表していくとともに、市町村が策定するハザードマップの見直しを促進します。

## (5) 健康分野

- 熱中症に対する注意喚起や予防・対処法についての普及啓発を図ります。
- 蚊(ヒトスジシマカ)が媒介するデング熱やジカウイルス感染症等に関する情報収集に努め、注意喚起を行うなど、まん延の防止を図ります。



ヒトスジシマカ  
(国立感染症研究所)

## (6) 産業・経済活動分野

- 気候変動も含めた県内企業の生産活動やニーズの変化に対応するとともに、気候変動に左右されず多くの観光客に来県していただけるよう、観光誘客を推進します。

## (7) 国民生活・都市生活分野

- 大雨、大雪、強風による交通インフラへの影響が拡大しないよう、鉄道事業者への安全・安定運送への取組みの要請や、道路交通網の整備・施設の強靱化に係る政府への要請等を検討していきます。

など



未来のやまがたのために みんなでチャレンジ!

ぼくさきに  
スイッチかくにん パパママも

平成28年度『やまがたエコスマイルコンテスト(川柳・標語)』小学校の部グランプリ  
馬下 智貴さん(白鷹町立鮎貝小学校2年)の作品



平成28年度『やまがたエコスマイルコンテスト(ポスター)』中学校の部グランプリ  
稲場 汐梨さん(山形市立第七中学校2年)の作品

山形県地球温暖化対策実行計画【中間見直し版】

発行・編集 山形県環境エネルギー部環境企画課

〒990-8570 山形市松波2-8-1 TEL.023-630-2336

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/050015/syou-energy/>

平成29年3月発行